

従業員とともに

グローバル人材育成

グローバルな人材育成に向けて

事業発展の鍵は、国内外従業員の人材育成と人材交流

グローバル化が進む中、ブラザーグループはグローバルでの人材育成と交流が事業発展の鍵を握ると考え、ブラザーのDNA継承やマネジメント能力の向上を目的とした研修、グローバルな人的交流の促進などに取り組んでいます。

取り組みの一環としてこれまでに、海外拠点のマネジメント層を育成する研修の実施や、日本の若手従業員を対象とするトレーニー(訓練生)の海外派遣など、早期に複数の国で経験を積む制度を実施しています。

これからも、各国・各地域の人材育成の情報をグループ全体で共有し、グローバルに計画的・長期的な人材育成を進めていきます。

グローバルに取り組む海外拠点のマネージャー育成

現場のニーズに寄り添った管理職養成研修を実施

ブラザーインダストリーズ(ベトナム)Ltd.(以下、BIVN)では、次期マネージャー候補者の早期育成を目的として、2014年から管理職養成研修を実施しています。この研修は、「自立した工場運営を担うベトナム人マネージャーを育てたい」というBIVNの要請からブラザー工業が支援し、始まりました。2015年度は第二期・第三期生としてベトナム人のマネージャー候補生(第二期9名、第三期10名)が選抜され、研修に取り組みました。

研修カリキュラムの作成時には、受講生とその上司へのヒアリングや360度サーベイを実施し、受講生が抱えるマネジメントの悩みや上司の期待を把握した上で、マネジメント能力の中でも特に必要とされる「報連相」、「チームマネジメント」、「部門間連携」に力点を置いた研修を行いました。研修中、受講生は多くのグループワークを通して自分の経験や悩みを共有し合うことで、知識習得だけではなく、実感を伴った学びを得ていました。そして、その学びから得た気づきを行動に生かすべく、受講生は自分の課題点を克服するための「行動計画」を毎月作成し、上司との面談を重ねながら行動改善に取り組みました。

受講生の上司からは、「管理職養成研修を通じて、自分の業務範囲だけでなく、広い範囲や他部門にも目を向けられるようになったと感じています」という声が届いています。2015年度は同様の取り組みをブラザーインダストリーズフィリピン(以下、BIPH)でも行い、15名のマネージャー候補生がワークショップやマネジメント講習に参加しています。受講生は、「分かる」と「できる」の壁を感じながらも、自分の小さな行動・心がけが周囲とのコミュニケーションを円滑にしていくことに気づき、管理職として会社をけん引していく意識を高めています。

ブラザーグループは、これからもグループ全体で長期的な人材育成に取り組んでいきます。



グループワークに取り組む受講生たち



上司への成果報告会